



札幌市学校体育研究連盟

令和7年 3月 17日 第208号

編集:編集部 札幌市立元町小学校

発行:事務局 札幌市立澄川南小学校

文責:北條 朱音(札幌市立平岡緑中学校)

第4回『事務局会議』

2月19日(水)に、中島体育センターで第4回事務局会議が開催されました。議題としては、「令和6年度冬季学習会の反省」「令和6年度活動報告」「令和7年度業務推進計画」「定期総会研修会に向けて」が取り上げられました。また、今回の事務局会議の中で、札幌市立向陵中学校校長原田之彦様より、御講話をいただきました。

◆令和6年度冬季学習会の反省

事務局

【成果】学習会Ⅲでは、役員定年の年度の先輩から選出できた。

人選を研修の位置付けで、御講話をいただいた。

【今後】学習会Ⅰ・Ⅱにおける時間配分を研究部と調節し、協議時間を確保する。

総務

【成果】集約・名簿作成等に QR コードを用いて行うことで、容易に作成・共有できた。

【今後】早急に名簿の共有を行う。急な変更を予想し、担当者の明記を徹底する。

庶務

【成果】玄関看板、来賓・運営・司会用の表示を持参できた。

【今後】庶務部から学習会への参加者を増やす。資料印刷物の準備については、役割分担から外し、依頼があれば対応していく。

研究

【成果】全国大会に向け、会員同士が対話する時間を確保しながら準備ができた。

【今後】会員同士が対話する時間を確保できるよう、時間の見通しをもつ。

編集

【成果】広報の作成、発行を予定通り行うことができた。

【今後】編集部から学習会への参加者を増やせるように、事前に呼びかけを行う。

組織

【成果】総務部・会計部と連携して行うことができた。

【今後】事前に受付人員を確保する。名札を作成しない方向で進める。



◆令和6年度活動報告



事務局

【成果】全道大会に向け、各会場の組織で研究を推進することができ、事前検討会での授業づくりでも参加者が多くいた。声掛けによる新規会員の加入が多かったため、今後とも努めたい。

【課題】全道大会のデータを整理し、今後の大会開催の際に活用できるよう保存する。大会運営、事務局、学習会等への返信率が思わしくなかったため、欠席不参加の連絡も必ず期日までに行うよう周知する。

総務

【成果】出席願い、派遣依頼、当日の司会、懇親会については概ね滞りなく推進できた。

【課題】挨拶依頼に関しては事前に確認を行い、余裕をもって依頼できるよう努める。

庶務

【成果】会議資料の集約・発送業務を滞りなく行うことができた。

【課題】校務支援システム以外の連絡方法も視野に入れる。大会や研修会等の実働人数が限られ、一部に負担過多となってしまう。また、当日の業務分担が成り立たない場面もあった。

研究

<冬季学習会>

1月10日(金)『全道大会の成果と課題』『全国大会へ向けた研究理論』『授業実践交流』

<出前研修>

7月10日(木)『園児でも楽しくできる運動遊び』

【成果】全国大会に向け、研修会や学習会を設定することができた。

編集

【成果】部員で分担しながら、紀要や広報の作成、発行を予定通り行うことができた。

来年度も迅速、かつ分かりやすい資料の作成や発行に努める。

組織

【成果】既存会員にチラシのデータを配布していただくことが新規入会者獲得に有効だった。Google Formsで名簿作成を行うことで、より精度の高い名簿作成につながった。

【課題】会場ごとに名簿作成を行うなど、分担を明確にして業務を行うことに努める。

会計

【成果】振り込みによる年会費の徴収も定着させることができた。

【課題】会費督促業務が抜けてしまったため、随時計画を確認しながら業務にあたる。

◆令和7年度業務推進計画

事務局

- ◆全国大会に向け、実行委員を中心に幅広い学校の先生方と協力して準備を進めたい。
- ◆次回の事務局について、一部が確定しておらず未定。確定し次第、連絡。
- ◆Google Formsでの返信率を高めていきたい。

総務

- ◆事務局各部との連携を密にし、会の運営に努めていきたい。

庶務

- ◆全国大会に向けて組織と連携し、迅速で的確、確実にデータの配信や案内を行う。

研究

- ◆全国大会に向け、授業づくりをうまく生かして計画を立てていきたい。
- ◆授業のプレ実践、また、授業実践につながる研修も検討している。

編集

- ◆全国に向け、会場が増えるため、会場ごとに分担し、事前・事後の広報作成にあたりたい。

組織

- ◆各部と迅速に連携をとり、組織の充実・強化を図る。

会計

- ◆会費徴収に関わる業務を円滑に遂行する。

◆講話 札幌市立向陵中学校長 原田 之彦 様

「体育人の先輩から後輩へのメッセージ」

- ・今の教育界に、次々と新しい波が寄せてきているが、その波を先頭に立って受け止め、乗り越えていてもらいたい。
- ・どんどんAIが進んできているが、考える力や学ぶ意志など、人と人との関わりをAIが行うことはできない。それが「教師の価値」である。
- ・一期一会の出会いが自分を成長させてくれたし、それが自分の原点となっている。これから先、スランプに陥ったり、困難が立ちふさがったりしたときは、教師を目指した原点を想起してほしい。



次回のお知らせ

令和6年度 第5回「事務局」

開催期日： 令和7年4月17日(木)

会場： 中島体育センター